

1. レジ袋削減への取組の経緯

新宿区は、リサイクル清掃審議会の答申に基づき、平成 20 年 4 月に区民、事業者、区で新宿区 3 R 推進協議会を設立した。協議会の活動の一環として 3 R 推進月間に開催する 3 R 推進イベントの中で、レジ袋削減のキャンペーン活動を行ってきている。

開催された 3 R 推進イベント・ごみ減量シンポジウム

	主な内容
平成 20 年度	<p>キャッチフレーズ：『ごみ半減・リサイクル倍増』の実現に向けて－区民・事業者・行政の役割－</p> <p>開催場所：新宿文化センター小ホール</p> <p>開催内容：</p> <p>講演「地球と仲良くね！－3 R でエコライフ－」（白井貴子：シンガーソングライター、環境省 3 R 推進マイスター）</p> <p>パネルディスカッション：『ごみ半減・リサイクル倍増』の実現に向けて－区民・事業者・行政の役割－</p>
	<p>キャッチフレーズ：『新宿発エコなくらし』</p> <p>開催場所：J R 新宿東口 駅前広場</p> <p>開催内容：</p> <p>新宿区 3 R 推進キャンペーン・オープニングイベント</p> <p>買い物の際のレジ袋（紙袋）の削減や簡易包装の推進に向けたキャンペーン開催挨拶及び周辺でのアピール</p>
平成 21 年度	<p>キャッチフレーズ：『ごみ半減・リサイクル倍増』を実現するために－新宿発「エコなくらし」を始めよう－</p> <p>開催場所：新宿文化センター小ホール</p> <p>開催内容：</p> <p>講演「スポーツとエコなくらし」（中西哲生：スポーツジャーナリスト）</p> <p>パネルディスカッション：「ごみ半減・リサイクル倍増」を実現するために～新宿発「エコなくらし」を始めよう～</p>
平成 22 年度	<p>キャッチフレーズ：～新宿発エコなくらし～ 3 R 的エコ買いのススメの</p>

	<p>イベントの中で</p> <p>開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー</p> <p>開催内容：</p> <p>食品ロス・トークショー（崎田座長、牛久保明邦教授（東京農業大学））</p> <p>新宿エコレンジャーショー</p> <p>各種展示</p>
平成 23 年度	<p>キャッチフレーズ：～新宿発エコなくらし～ 大震災後の今だからこそ見直す 3 R</p> <p>開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー</p> <p>開催内容：</p> <p>とことん 3 R トークショー（崎田座長、江戸むらさき（お笑いコンビ））</p> <p>新宿エコレンジャーショー</p> <p>各種展示</p>

（資料）新宿区ホームページ・新宿区資料

また、同協議会が提唱した「新宿エコ自慢ポイント」の取組を実施している。これは消費者が買い物でレジ袋等を辞退したときに、小売店がレシートやスタンプカード等に辞退したことを印字または押印した場合、そのレシート等を「環境に良い消費行動をした証拠」として捉え、消費者がこれらを集めて区や環境団体等のイベントなどに持参すると、通常のお店での特典等とは別にお楽しみに活用できるというもの。活用の内容は、景品の配布の他、ポイント競争など、行事主催者が工夫する。この取組により、レジ袋等の辞退を促進し、環境・ごみ問題全般についての区全体の意識を高めることを狙いとしている。

新宿エコ自慢ポイントとは？

- お買い物のとき「レジ袋・紙袋」を断る
- リサイクル活動センターで、「リユース品」を購入する
- 環境学習情報センター・西早稲田リサイクル活動センター主催の環境講座や区のエコ自慢ポイント対象イベントに参加する
- 節電が確認できる「電気ご使用量のお知らせ」をとっておく



環境配慮行動のわかるレシートや電気使用量のお知らせを集めます。講座は、右図の受講スタンプで1P。イベントは、当日受付コーナーまで。



集めたレシート等をエコ自慢ポイントの受付窓口に登録カードと一緒に持っていきます。

登録受付場所

- 【西早稲田リサイクル活動センター】(西早稲田 3-19-5 tel 5272-5374)
- 【環境学習情報センター】(西新宿 2-11-4 新宿中央公園内 Tel 3348-6277)
- 【エコ自慢ポイント対象イベント】HP に対象イベントを掲載しています。

エコ自慢ポイント受付では、ポイントの登録や景品の交換などができます。エコ自慢ポイントの受付ができるイベントは、現在下記のとおりです。

- 1/28(土)【まちの先生見本市】 落合第四小学校(下落合 2-9-34)にて
- 3/4(日)【こどもまつり】西早稲田リサイクル活動センター(西早稲田 3-19-5)
- 3/10(土)【エコワン・グランプリ】環境学習情報センター(西新宿 2-11-4 新宿中央公園内)

ポイント年間上位者を表彰しています！



レシート



講座受講ポイント

(資料) 新宿区ホームページ

【新宿エコ自慢ポイント交換景品】

400P オリジナル風呂敷(2種類のうち1つ)	
300P 折りたたみランチボックス等	
200P ステンレスボトル	
100P マイタンブラー等	
50P マイバッグ等	
30P Shinjuku Clean 軍手等	
20P ペーパー・ペンスタンド等	
10P ごみ袋等	
5P 消しゴム・クリアファイル等	1P ポケットティッシュ

なくなり次第、景品は変わります。
あらかじめご了承ください。

(資料) 新宿区ホームページ

さらに、区内の小売事業者、区民団体、区が連携して、21年10月に『新宿発「エコなくらし」3R協働宣言』を行った。各宣言参加者が作成した行動計画の中に、容器包装の削減の項目としてレジ袋削減の取組を表明している。

平成 23 年度の 3 R 推進行動計画書の内容

事業者名	容器包装の削減に係る取組内容	数値目標等
アブアブ赤札堂	<ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋、トレイの使用枚数を削減する 	地域柄レジ袋辞退者の増加は難しい面があるので、レジ袋及びトレイの総使用枚数の削減を目指す。
いなげや新宿小滝橋店	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、POPでマイバッグ持参の積極的なPRの実施 ・辞退者へのエコポイント付与 ・ばら売りの実施 	マイバッグ持参率のUP 40.6%→目標 42%
京王ストア	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、POPでマイバッグ持参の積極的なPRの実施 ・辞退者へのグリーンスタンプの付与 ・ばら売りの実施 ・簡易包装の推進 ・声掛けなどの実施 	レジ袋削減に向けて買い物袋持参率 20%の実現（現状 17.2%）
生活協同組合 コープとうきょう	<ul style="list-style-type: none"> ・代金済方式の有料化を既に導入済み 	継続
三徳	<ul style="list-style-type: none"> ・新店オープン時マイバッグをプレゼントして協力を呼びかけ ・辞退者へエコポイント付与 ・ノーレジ袋カードの設置 ・マイバッグの販売 	前年比 95%
ピーコックストア	<ul style="list-style-type: none"> ・マイバッグ運動の推進（エコポイントの付与） ・簡易包装のPR 	対前年 2%減
マルエツ	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、POPでマイバッグ持参の呼び掛けを実施 ・1050円以上お買い上げのお客様に2円をキャッシュバック ・ばら売りの実施（青果・果物） ・ギフト品の簡易包装の推奨 	レジ袋辞退率アップ 目標（前年比）⇒オレンジコート店 2%、飯田橋・高田馬場・中落合一丁目・西新宿三丁目・西新宿六丁目・西早稲田駅前・早稲田店 1%
丸正チェーン商事	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送、POPでマイバッグ持参の 	レジ袋削減に向けて買い物袋

	<p>積極的なPRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辞退者へのエコポイント付与 ・ ばら売りの実施 	使用率5%削減の実現
ファミリーマート	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジでお客様にご協力の声かけの実施 ・ 店頭ポスターによるレジ袋削減の訴求実施 ・ 店内放送でマイバッグ持参の積極的なPRの実施 ・ レジ袋液晶面での訴求 	レジ袋削減に向けて新宿区内店舗レジ袋辞退率35%の実現
ミニストップ	<ul style="list-style-type: none"> ・ レジでお客様に不要なレジ袋をお断りしていただくご協力の声かけの実施 ・ レジ袋削減ポスターや協力依頼のポスター等でのお客さまへの啓発 	レジ袋1回あたりの使用重量を前年度比10%削減
三越伊勢丹 伊勢丹新宿本店	<ul style="list-style-type: none"> ・ スマートラッピングの推進 → お客さまへの呼びかけ ・ オリジナルショッピングバッグの販売 ・ 環境イベントでの容器包装削減の呼びかけ ・ 従業員・取引先販売員への教育 ・ 風呂敷の包み方教室の実施（不定期） 	容器包装使用量の前年度比1%以上削減
小田急百貨店（新宿店）	<ul style="list-style-type: none"> ・ マイバッグキャンペーンの推進 (手提袋をご不用とされた小田急ポイントカード会員のお客さまに、1日1回5ポイントを付与します。) ・ スマートラッピングの推進 ・ オリジナルエコバッグの販売 (売上金の一部をオイスカ「子供の袋」計画へ寄付します。) 	<p>包装紙使用量1%削減（対前年・重量比）</p> <p>手提袋使用量1%削減（対前年・重量比）</p>
京王百貨店	<p>○スマートラッピングの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 精算時、お客様におうかがいして、ご要望に沿った包装形態を行う（自家需要は簡易包装など） ・ マイバッグや既に手提げ・レジ袋をお持ちのお客様には、新規の袋の要・不要を確認する。 	<p>2012年度までに2007年度比で、原単位ベース10%削減</p> <p>原単位＝容器包装重量（kg） ÷ 売上数量</p>

	○オリジナルマイバッグの販売	
新宿高島屋	<ul style="list-style-type: none"> ・買物袋：二重袋を止めるため袋の郷土 UP を図る。 ・レジ袋：レジ袋不用のスタンプカード導入により粗品進展とエコポイントの取扱いを促進する。 ・包装紙：簡易包装をお勧めする。 	風袋重量計算で1%の削減
丸井新宿店	<ul style="list-style-type: none"> ■紙製手提げ袋の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・軽量化 ・展開サイズの統廃合 ・過剰包装の削減 ・ギフト包装の簡易包装化 ■配送用ダンボールの再利用 <ul style="list-style-type: none"> ・社内用梱包材のリユース 	22年度と同様に継続
三越伊勢丹 三越新宿アルコット店	<ul style="list-style-type: none"> ・店内放送でマイバッグ持参の積極的な PR の実施 ・スマートラッピングの推進について店内放送にて呼びかけ ・百貨店協会作成エコバッグ（スマートクールバッグ）の拡販 	店内放送にて1日2回呼びかけを実施 スマートクールバッグ販売数 50枚
ルミネ	コピー用紙、プリンター用紙の削減	前年実績の5%減
新宿区商店会連合会	エコバッグ使用の推進強化	各商店会へ広報周知（年2回）、アトム通貨事業と並行して周知
新宿区生鮮三品特販組合	店頭でマイバッグ持参の PR 実施	レジ袋削減に向けて買い物袋持参率 25% の実現

（資料）新宿区3R推進協議会・新宿区「3R推進行動計画書」（平成23年9月）

2. レジ袋削減への取組に係る自身の評価

（1）新宿エコ自慢ポイントへの参加を通じて、レジ袋を断ることが習慣化

新宿エコ自慢ポイントの推移をみると、平成20年度以降、着実に増加してきており、新宿エコ自慢ポイントへの参加者は、本ポイント制度への参加を通じて、レジ袋を断ること

が習慣化している。

新宿エコ自慢ポイント

	合計ポイント	登録者	1位	節電1位
平成20年度	5,288Pt	356人	368Pt	—
平成21年度	9,780Pt	269人	566Pt	—
平成22年度	15,333Pt	266人	711Pt	—
平成23年度	56,452Pt ※エコ活動 16,920Pt 節電 39,532Pt	237人	579Pt	2,160Pt
合計	86,853Pt	1,128人	—	—

※エコ活動：レジ袋の辞退、リユース品の購入及び環境講座の受講ポイントの総称

(資料) 新宿区資料

また、新宿エコ自慢ポイント上位者を表彰し、受賞者には粗品を差し上げていることも、新宿エコ自慢ポイント参加者の日々のレジ袋削減への取組のインセンティブになっている。

新宿エコ自慢ポイント上位者を表彰します
日時：平成24年3月10日(土) 13:00～
場所：環境学習情報センター(新宿中央公園内)
当日来場者のうち、平成23年度のエコ活動ポイント、節電ポイントのそれぞれの累計ポイントが上位5名の方を表彰します。受賞者の方には粗品を差し上げます。
※当日、午後0時半までに登録カードをご持参のうえお越しください。
※事前に、受賞の連絡はいたしません。
平成23年度 上位者20名が下記の方に決定しました!!

平成23年度の表彰は、23年3月7日～24年3月4日までのポイントが対象です。

エコ活動ポイント(順)			節電ポイント				
順位	登録番号	ニックネーム	ポイント	順位	登録番号	ニックネーム	ポイント
1	60011862	1682862	579Pt	1	60012555	tonko0209555	2160Pt
2	60002037	3725037	560Pt	2	60012425	rietero425	1386Pt
3	60008244	841244	493Pt	3	60004383	fumiko383	1313Pt
4	60008756	masaechan756	468Pt	4	60004338	midori338	1264Pt
5	60007407	sakura407	413Pt	5	60012371	minaminohaha371	1211Pt
6	60001078	513078	413Pt	6	60004284	s284	1203Pt
7	60009081	sakiguchihar081	381Pt	7	60012500	yanagicho500	1203Pt
8	60005520	lamu520	355Pt	8	60004321	smagamac321	1177Pt
9	60005485	chopen485	302Pt	9	60000239	gigo115398	1125Pt
10	60010481	haru481	291Pt	10	60008992	hna992	1063Pt
11	60007643	1367643	285Pt	11	60013101	sakura101	907Pt
12	60012425	rietero425	260Pt	12	60014443	yamacopp443	781Pt
13	60008992	hna992	257Pt	13	60009739	akira739	788Pt
14	60011671	hougisha671	257Pt	14	60012449	88672449	754Pt
15	60001181	3835181	251Pt	15	60014208	yubiomama308	701Pt
16	60012487	4643487	228Pt	16	60012241	mb241	696Pt
17	60004260	marimo260	228Pt	17	60013187	tsurumen187	662Pt
18	60009222	mamimama222	213Pt	18	60002020	sischer020	661Pt
19	60014039	tsutsumi4039	210Pt	19	60012333	rinrin0333	638Pt
20	60005212	imaymi212	206Pt	20	60013168	huma168	622Pt

※エコ活動ポイントとはレジ袋の辞退、リユース品の購入及び環境講座の受講ポイントの総称です。

ニックネームは1桁の数字を含み、登録番号は600で始まる8桁です



【問合せ】生活環境課ごみ減量計画係 Tel:03-5273-3318
 ご自分の順位はHPで確認できます。節電、エコ活動ポイントの上位者一覧は別紙でご確認いただけます。不明な点は上記まで

(資料) 新宿区資料

(2) 3R推進行動計画が推進協議会参加事業者における継続的な取組を担保

推進協議会に参加している小売事業者においては、行動計画の中でレジ袋辞退率削減目標を立て、毎年PDCAを行い、新たな行動メニューや目標設定を行ってきており、小売事業者におけるレジ袋削減への取組が継続的なものとなっている。

また、事業者にとっては、3R推進行動計画を通じて、消費者に対して自身の取組姿勢を示すものとなっている。

3. レジ袋削減から新たな取組に展開した経緯、新たな取組に展開できた要因

平成20年度に導入した「新宿エコ自慢ポイント」は、当初はレジ袋削減のみをポイント付与対象にしていたものの、仕組み自体がポイント対象の拡張に対応しうるものであったため、その後、西早稲田リサイクル活動センターでリユース品を購入した場合や環境学習情報センター・西早稲田リサイクル活動センターで環境講座を受講した場合、区のエコ自慢ポイント対象の環境イベントに参加した場合にもポイント付与されるように拡張された。また、平成21年度に「3R推進協働宣言」を行い、平成22年度から本格的に運用が開始された3R推進行動計画も、事業者の行動メニューとして、レジ袋削減にとどまらず、店頭回収等による自主回収・リサイクルの推進、3Rに配慮した商品の積極的な販売、店舗や事業所から出るごみの減量化、適正な分別及びリサイクルの推進、などが挙げられており、レジ袋削減以外の取組への広がり期待できる仕組みになっている。

4. 新たな取組の詳細

(1) 節電対策の「新宿エコ自慢ポイント」への追加

平成23年の夏は電力使用制限が要請されたことから、平成23年8月から、節電ポイントを「新宿エコ自慢ポイント」の対象に加えた。具体的には前年同月比で1kWh削減に対して1ポイントを付与する形にした。

節電ポイントを加えたことで、若年層（20～30代主婦）にも「新宿エコ自慢ポイント」への参加者を広げられた。

平成24年度も引き続き、節電ポイントを加え、実施していく予定である。また、平成24年度からは、新宿区役所7F生活環境課もポイント受付場所として加わるほか、ポイントの交換をシンプルなものとするため、累計ポイントが規定のポイント数に到達するたびにポイント数に応じた景品と交換する方式になる予定である。

(2) マイボトル・マイカップ推進に係る取組

平成22年度、平成23年度の新宿駅西口広場イベントコーナーでのイベント実施時に、

環境省と連携し、マイボトル・マイカップ推進をテーマにした展示を行った。近年、マイバッグやマイボトルに関しては、子どもたちにも広く浸透してきたと感じている。

（３）オリジナル風呂敷の作成

平成 23 年度に、新宿区 3 R 推進協議会でオリジナルの風呂敷を作成し、3 R 推進キャンペーンイベント等で区民団体が風呂敷の包み方講座などを開催した。デザイン性の高い風呂敷を制作したことから、風呂敷への反響も大きかった。

